

栃木県

定 数： 4 名

立候補者数： 3 名



氏名 南雲 光則
氏名ふりがな なぐもみつのり
都道府県士会 栃木県
年齢 59
勤務先名称 自治医科大学附属病院

日本理学療法協会活動歴

平成22年7月	～	平成23年3月	選挙管理委員
平成29年6月	～	令和03年6月	倫理委員会委員
令和02年4月	～		代議員
令和05年6月	～	令和7年6月	倫理委員会委員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成22年7月	～	平成29年6月	訪問リハビリテーション推進特別委員長
平成25年4月	～	平成31年3月	代議員
平成25年6月	～		理事
平成29年6月	～	令和05年6月	副会長
令和05年6月	～		代表理事 会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

協会と士会会員との双方向性の関係性の深化。
情報共有をさらに進めること。



氏名 加藤 浩子

氏名ふりがな かとう ひろこ

都道府県士会 栃木県

年齢 46

勤務先名称 菅間記念病院

日本理学療法協会活動歴

令和2年～令和4年度 日本理学療法士協会登録理学療法士制度委員会委員
令和5年～ 日本理学療法士協会代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成23年～令和8年度 栃木県理学療法士会理事
平成23年～平成28年度 栃木県理学療法士会学会部部长
平成25年～平成28年度 理学療法資質向上検討委員会委員長
平成28年～令和4年度 栃木県理学療法士会ワークライフバランス部部員
平成29年～令和6年度 栃木県理学療法士会学術局長
平成30年度 第37回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員長
令和5年度～ 栃木県理学療法士会副会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は平成23年より栃木県理学療法士会理事、学会部部长を拝命し、約15年間学会運営に携わり、査読システムの構築やオンライン学会への移行準備など学術的な資質向上と若い世代の会員の学会運営への参画に努めてまいりました。今後も栃木県理学療法士会がより活性化し、国民に貢献できる資質の高い理学療法士の育成や、幅広い年代の会員の県士会事業への参画推進、そして魅力ある栃木県理学療法士会を目指し、会員同士が縦と横のつながりを築けるよう努めて参りたいと存じます。加えて、令和5年度から日本理学療法士協会代議員、栃木県理学療法士会副会長となり、協会の事業計画や運営方針を詳細に知ることができ、都道府県士会と日本理学療法士協会の連携の重要性を重く受け止めることができました。栃木県理学療法士会の代表として日本理学療法士協会の代議員となり、協会の事業運営を注視するとともに活発で一体感のある日本理学療法士協会となるように尽力して参りたいと存じます。



氏名 田村 由馬
氏名ふりがな たむら ゆうま
都道府県士会 栃木県
年齢 44
勤務先名称 獨協医科大学日光医療センター

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2019年 第23回栃木県理学療法士会学術大会大会長
2025年～ 栃木県理学療法士会職能局内部障害班

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2021年 日本糖尿病理学療法学会分科学会運営幹事
2022年～ 日本糖尿病理学療法学会理事（現職）ガイドライン委員長
2026年 JSPTDM学術集会大会長

立候補の趣旨

日本理学療法士協会代議員に立候補いたします。

私は、①急性期における理学療法の充実、②予防・地域活動へのさらなる関与促進、③体系的な卒後研修制度の拡充、④柔軟性のある働き方の実現、これらを特に重要な課題と捉えております。

医療保険下のリハビリテーションは、急性期からの早期介入、休日リハビリテーションの実施など、従来の働き方から大きなパラダイムシフトが進んでいます。これらへの対応には、若手理学療法士の育成と活躍が不可欠であります。

「忙しいが、スタッフ数が拡充されない」という施設も多いのではないのでしょうか。本県では、新卒者の輩出数や県内就職率が低く、これらを是正し、若手が流入することで、働き方の諸問題に対応し得ると考えます。至適な人員数や業務量を把握し、協会員の働きやすさをサポートできる組織にしたいと考えています。また、新卒者の就職活動の在り方についても再考する必要があると思います。

理学療法士を地域の予防活動にどのように活用していくのか、在宅ワークや兼務といった柔軟な働き方をどのように実現していくのかも、今後の重要な課題です。これらの取り組みは、地域包括ケアの充実のみならず、理学療法士自身の専門性発揮や経済的安定にも寄与すると考えています。

以上の課題について、現場の声を協会活動に反映し、理学療法士が安心して成長し、地域とともに発展できる環境づくりに貢献する所存です。